

4年ぶりの夏祭り、多彩に華やかに

新型コロナウイルスの影響により令和元年度を最後に実施を見合わせていた「第6回そげい夏まつり」が8月19日(土)に4年ぶりに開催されました。開会時間を例年より1時間早め、5時の開会となりましたが、開会直前から雨が降り出しました。各自治会等から出店した8つの屋台と結びネットそげい特産品チームの屋台、合わせて9つの屋台が軒を連ねたほか、ステージイベントとして、気仙沼市を扱



雨にもかかわらず賑わった《屋台村》

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

そげっぱ通信

8月

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuin
et-sogei.com

点に活動しているビートルズのコピーバンド、「ザ・ビートルズ」がご機嫌な演奏を繰り広げ夏祭りの会場を盛り上げました。途中から雷雨が激しくなり、会場を体育館に移して、長者自治会による「長者さんさ踊り」が華やかに会場を盛り上げ、「総踊り」ではおなじみの大東音頭の他、「一関市民の新しい踊り」を振り付けをした皆川かおりさんの指導により参加者全員で楽しく踊りました。最後にお楽しみ抽選会が行われ、4年ぶりの「そげい夏まつり」が華やかに終了しました。



オープニングを飾ったザ・ビートルズの演奏



司会を務めた佐藤徳幸さんと山内静江さん



皆川かおり先生の指導により「一関市民の新しい踊り」を楽しく踊りました



会場を体育館に移して、子供たちを含む「長者さんさ踊り」の皆さん16人が華やかに舞いました



準備には中高生も10人参加して素晴らしい働きをみせました

学びの土曜塾《夏休み》

竹で水鉄砲できたよ!

学びの土曜塾《夏休み編》が7月27日(木)に
 浜民市民センターを会場に開催されました。大
 東地区の小学生30名が参加し、うち曾慶地区
 からは4名が参加しました。

今回のテーマは「大東の自然(山)」。工作では、
 自然の竹を使って水鉄砲をつくりました。ほと
 んどの子供達が初めて竹で水鉄砲づくりを体験。
 実際に校庭で水鉄砲で遊びましたが、うまく飛
 ばせた子、飛ばせない子、自分に水がかかった
 子もいて、それぞれ楽しんで遊んでいました。



作った水鉄砲で元気に遊ぶ子供たち

女性ふれあい学級

カエルのマスコット可愛く



出来上がったカエルを手に嬉しそうな参加者

7月28日(金)、曾慶の足利千代子さんを講
 師に「手づくりワークショップ～かわいいカエ
 ルをつくろう!～」を開催し、曾慶地区内外か
 ら6名が参加しました。細かい作業もありまし
 た。千代子さんに丁寧に教えて頂き、ひとり
 ひとり個性のあるとってもかわいいカエルが出
 来上がりました。参加者からは、「ずっと作りた
 いと思っていたカ
 エルの作り方を教え
 てもらえて、楽し
 く作れて良かった」
 と声がありました。



平和願い戦没者を慰霊

8月20日(日)、曾慶地区の自治会長等の呼び
 かけにより、曾慶農村公園を会場に戦没者慰霊
 祭が行われました。会場には自治会長等の他、
 遺族会関係者など30人ほどが参列し、日清・日
 露戦争や太平洋戦争での戦没者を祀った忠魂碑
 の前で黙祷をささげ、花を手向けました。

近年、世界ではロシアのウクライナ侵攻を始
 め平和を齎す事態が起きていることから、慰
 霊碑の前で平和の尊さを考え、悲惨な戦争を二
 度と起こさないことなどを誓い合いました。



忠魂碑の前で30人ほどが参列して行われた
 戦没者慰霊祭

大東キッズ・サマーキャンプ

いかだ作り・遊びに挑戦!



「いかだ作り・遊び」はワクワクドキドキの体験

大東地域教育振興運動推進委員会が主催する
 「大東キッズ・サマーキャンプ」が8月3日～4
 日に陸前高田市にある岩手県立野外活動セン
 ター(ひろたハマラインパーク)を会場に開催されま
 した。大東地域の小学4年生～6年生35人が参
 加したキャンプでは、いかだを作って海に浮か
 べる体験やキャンプファイヤー、野外炊事での
 カレー作り、流木を使ってのフォトフレーム作
 りなど多彩な体験メニューと学校や学年を超え
 た子供たちの交流が行われました。去年から参
 加したという大東小の足利汐風(せな)さん(6年)
 は「カレーはうまくできたけどご飯が固かった。
 でも楽しかった」と目を輝かせました。

筆文字アート講座 受講生募集

9月の女性ふれあい学級は、大船渡市からきんのりこ先生をお迎えしての「筆文字アート講座」です。自由な筆文字で世界に一つだけのあなたの作品を作ってみませんか？

- ◆日時…令和5年9月28日(木) 13:30～
- ◆会場…曾慶地区センター
- ◆定員…15名
- ◆参加料…1,500円(材料代)
- ◆申込…令和5年9月21日(木)まで



秋の剪定教室を開催

恒例の秋の剪定教室を開催します。市民センター周りの庭木を教材に、樹木の特性に応じた剪定の仕方や道具の手入れの仕方を学びます。

- ◆日時…令和5年9月15日(金) 9:00～
- ◆会場…曾慶地区センター
- ◆定員15名、参加料…無料
- ◆講師…鈴木造園 鈴木隆廣氏
- ◆申込…令和5年9月12日(火)まで



第62回 曾慶地区民運動会

曾慶地区民運動会(主催：曾慶体育協会/共催：曾慶市民センター)は平成29年9月の開催を最後に、雨や新型コロナの感染拡大等により中止を余儀なくされていましたが、競技種目を見直し、老若男女誰もが楽しめる運動会になっています。

- ◆日時…令和5年9月10日(日)
午前9:00～午後12:00
- ◆会場…曾慶グラウンド(雨天中止)

news!



地区民運動会に「わぎゃすたーS」が屋台を出します。◆かき氷(子供は1杯は無料、2杯目以降と大人は50円)◆射的◆輪投げ

お灸のうせ

※各教室等の詳細については、別に配布するチラシをご覧ください。(曾慶市民センター ☎ 75-2244 へお申込みください)

第2回スマホ教室参加者募集!

今年度第2回目のスマホ教室を開催します。アプリやオンラインを使った便利な活用方法や、災害時の情報集・安否確認の方法などを勉強します。午前と午後の2回の開催します。

- ◆日時…令和5年9月8日(金)
午前10:00～・午後2:00～
- ◆会場…曾慶地区センター
- ◆定員…16名(午前と午後それぞれ8名ずつ)
- ◆申込…令和5年9月1日(金)まで



秋のウォーキング教室

今年度3回目のウォーキングは、宮城県大崎市古川の羽黒山公園へ移動し、丘一面を埋め尽くすように咲く深紅の彼岸花を觀賞しながら歩きます。9月中旬から下旬に見頃を迎えます。赤い絨毯に包まれながら、一緒に歩きましょう。

- ◆日時…令和5年9月22日(金)
午前9:00～午後4:00予定
- ◆集合…曾慶地区センター
- ◆行き先…宮城県大崎市古川
- ◆定員…15名(定員になり次第締め切ります)
- ◆参加料…無料(昼食等は自己負担となります)
- ◆申込…令和5年9月15日(金)まで



曾慶地区敬老事業の実施について

敬老記念品贈呈と自治会等単位での敬老事業の経費を助成

曾慶地区福祉活動推進協議会では、検討した結果、今年度も一堂に会した敬老会は行わずに、推進協で一括購入した敬老記念品等をお配りし、合わせて各自治会等単位で行う敬老事業(敬老会)に対して助成することといたしました。

市からの予算が削減されたことと、また、市の指針によると、一堂に会しての敬老会では飲食は原則禁止、短時間での実施など いつも が求められているためです。ご理解、あいごと とご協力をお願いいたします。



◎記念品配布の日程

- ◆日時：令和5年9月18日(月・敬老の日)
9:00～10:00
- ◆会場：曾慶地区センター多目的ホール

◎自治会単位での敬老事業

実施内容としては「ミニ敬老会の実施」・「独自記念品の配布」等それぞれ自治会で決めておいてください。(※交付額は敬老対象者(80歳以上)1人あたり@900円)

具体的な手続きについては、後日通知します。

そげいびと

⑩ 岩渕俊一さん (52) ~曾慶字神蔭~

4年ぶりの「そげい夏まつり」サブリーダーとして奔走



今年から「結いネットそげい夏まつりチーム」のサブリーダーを務めた俊一さんからお話を伺いました。祭りの翌日、片付けを終えたばかりで、さぞかしお疲れだったとは思いますが、快く笑顔で取材を受けていただきました。俊一さんは平成26年、地域協働体「結いネットそげい」が立ち上がり、地域の要望を受けて14年ぶりに復活した「そげい夏まつり」チームの事務局を務め、コロナで3年間の休止を経て、今年の第6回の夏まつりからサブリーダーとなりました。サブリーダーになっても仕事は同じ。当日もグルグル会場内を回り、出店のサポートを中心に奔走しました。「お客さんが来て楽しんでもらえるか心配だったが、雨の中でも来てくれて、出店者とも楽しそうに話していた。久しぶりの再会・交流の輪が広がったのは良かった」と胸をなで下ろします。

祭りの当日は会場準備が進むにつれ雨雲が立ちこめ、午後5時過ぎの閉会とほぼ同時に雨が降り出し、一時は激しい雷と豪雨で放送も聞こえないほどでした。本人は「雨男ぶりを発揮してしまった」と苦笑い。

いつも明るい俊一さんの周りには人が集まり、笑い声が絶えない印象ですが、細やかな気配りも忘れません。祭りの会場では雨対策もあり、出店を中心にあちこちから「俊一っあーくん！」のSOSが飛び交っていました。

期待や不安よりも
できることを頑張りたい

高校を卒業後に上京し大手家電量販店で勤務し、その後友人と3人で2店舗のコンビニ経営も行うなど、10年間の都会生活を経て29歳でUターン。施設や機器の修理からさまざまな相談など何でもこなす俊一さんには、このような豊富な経験の裏付けがあることを聞いて納得。東京では奥さんの正子さんとの出会いもありました。

曾慶に帰ってからは社会福祉協議会で新たに介護の仕事にスタート。2011年から新しい社会福祉法人と介護事業所の立ち上げに関わり、現在はデザイナーサービスの所長を勤めています。

今後については、「お祭りを通して曾慶地区の人たちが少しでも交流できる機会が増えればいい。将来を期待したり不安に思うよりも、できることを頑張ろうかな」と話してくれました。

曾慶の人口と世帯数

令和5年8月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	35	27	62
2区	69	98	94	192
3区	53	68	78	148
4区	49	66	74	140
5区	65	78	70	148
6区	40	62	58	120
7区	29	41	40	81
13区	33	49	40	89
こはぎ荘	44	17	27	44
合計	410	514	508	1022
前月比	Δ4	Δ4	Δ6	Δ10



曾慶百景
水 みずがみ 上

現在の字名になっている「水上」はなだらかな山に向かって奥に深く、曾慶の角地、大原境では萱刈場や岩谷堂に接しています。山の上流からは曾慶川に向かって沢水が流れ、水田の用水になっていますが、これが水上の命名由来でしょうか。現在、水上には6軒のお宅がありますが、かつては沢の上流に「水上(水神)屋敷」があり、屋敷には水神が祀られていたと考えられています。